Panasonic

ステレオ ラジオ カセットレコーダー

品番 RX-FS47

取扱説明書

保証書別添

上手に使って上手に節電

このたびは、パナソニック「ステレオ ラジオ カセットレコーダーRX-FS47」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

■取扱説明書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

もくじ

準備編

必ずお守りください……2
電　源……3
各部のなまえ……4
共通の操作……5

演奏編

ラジオ/テレビ（1-3チャンネル）を聞く……6
テープを聞く……8

録音編

録音をする前に……10
ラジオ/テレビ（1-3チャンネル）を録音する……11
内蔵マイクで録音する……12

その他

ヘッドホンで聞く……13
お手入れ……13
アフターサービスについて……14
故障かな!?……15
主な仕様……裏表紙

RQT2211-1S

必ずお守りください

電源は、AC（交流）100Vで

電源コードは正しく取り扱ってください。
取り扱いを誤ると危険です。
- プラグを持つ
- 重いものを載せない
- 無理に曲げない

加工・改造・異物の挿入はしない

感電や故障の原因になります。特にお子様にはご注意ください。

水・薬品はかからないように

引火、火災や感電の恐れがあります。

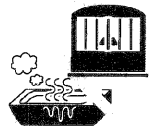
乾電池の⊕と⊖は正しく入れる

液漏れにより、本機を破損する恐れがあります。

長期間使用しないときは

思わぬ事故を避けるため、電源コードを本体、コンセント側とも抜いておいてください。

設置は安定した、風通しのよいところに



故障の原因になりますので、次のような所は、避けてください。
- 湿気の多い所
- 直射日光の当る所など、温度が高い所
- 倉庫などほこりの多い所

夏の閉め切った車内に放置しない

100℃に達することもありますので、キャビネットが変形、変色することがあります。

万一、故障が起きたら

電源コードを抜き、お買い上げの販売店にお問い合せください。

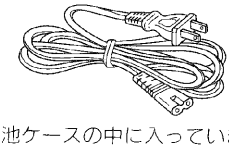
音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

付属品

電源コード……1

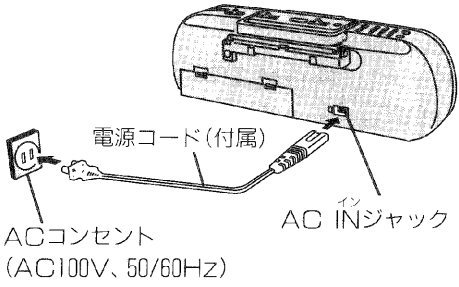


乾電池ケースの中に入っています。

電　源

本機は、家庭用電源（AC）と乾電池（DC）で使える、2電源方式です。

家庭用電源(AC)で



ご参考

節電のために

長期間使用しないときは、電源コードは本体、コンセント側とも抜いておきます。(電源が切れていても、コード接続中は、約1.3Wの電力を消費しています。)

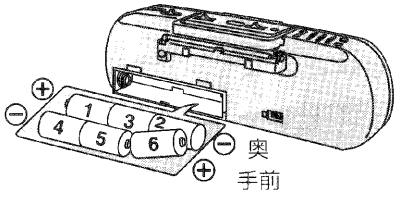
■AC電源←→乾電池電源の切換えかた

電源コードを本体から抜くと乾電池電源に切換わります。

乾電池(別売り)電源で

屋外で使用するときや、屋内でも頻繁に聞く場所を移動するとき、またはACコンセントが遠いところなどでは、乾電池（別売り）の使用が便利です。(本体前面を下にして乾電池を入れるときは、傷がつかないよう、柔らかい布を敷いて行なうことをおすすめします。)

■乾電池の入れかた



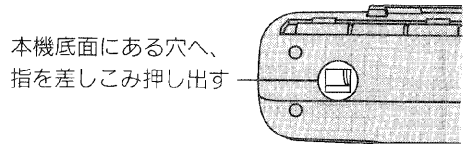
電源コードを本体から抜き、番号順に入れる。

①乾電池ケースふたを開ける

②乾電池を番号順に入れる
　単1形乾電池（R20PU/LR20）6個（別売り）

③ふたを閉じる。

■乾電池の取出しかた



■乾電池の交換時期

テープ速度が遅くなったり、また音がひずんだり小さくなったときは、全部新しい乾電池に取替えてください。

ご参考

- こまめに電源を切りながら使うほうが、乾電池は長持ちします。
- 大切な録音をするときは、途中で乾電池の消耗によるトラブルを防ぐために、AC電源を使用するか、すべて新しい乾電池と交換しておくことをおすすめします。

■乾電池取扱い上のご注意

- 長期間使用しないときや、いつも家庭用電源で使用するときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため、乾電池を取出しておいてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- 充電をしないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 違う種類（マンガンとアルカリなど）の電池を混用しないでください。
- 火の中への投入や、ショート（短絡）、分解、加熱などをしないでください。
- 使用しないときは電源を確実に切ってください。

各部のなまえ

■前面および天面

XBSボタン
(☞5ページ)

音量つまみ
(☞5ページ)

AMチューニング
インジケーター(☞6,7ページ)

バンド切換つまみ
(☞6ページ)

ヘッドホン端子
(☞13ページ)

動作切換つまみ
(☞5ページ)

FM/AMステレオ
インジケーター(☞6,7ページ)

ビートプルーフ切換つまみ
(☞11ページ)

選局つまみ
(☞6ページ)

グラフィックイコライザーつまみ
(☞5ページ)

内蔵マイク
(☞12ページ)

ウーハー

ツィーター

リバースモード切換つまみ
(☞8,9ページ)

反転つまみ
(☞8ページ)

■テープ操作部

一時停止
ボタン

早巻ボタン

録音ボタン

停止/取出しボタン

再生ボタン

■後面

FM/TV用
ホイップアンテナ

ハンドル

乾電池ケースふた

AC INジャック

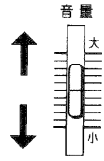
共通の操作

音量の調整は

音量つまみで調整します。

音量が上がる

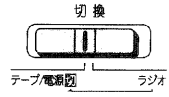
音量が下がる



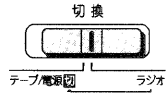
動作の切換えは

動作切換つまみで切換えます。

テープを聞くとき/電源を切るとき：



ラジオを聞くとき：

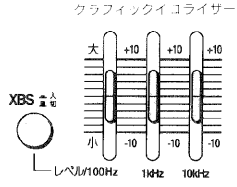


音質の調整は

グラフィックイコライザーつまみで調節します。

■グラフィックイコライザー

各周波数（100HZ、1KHZ、10KHZ）の音質をお好みに応じて調整できます。
各つまみは“＋”の方向に動かすと、その周波数の音が強調され、“－”の方向に動かすと弱くなります。



■XBS（Extra Bass System）

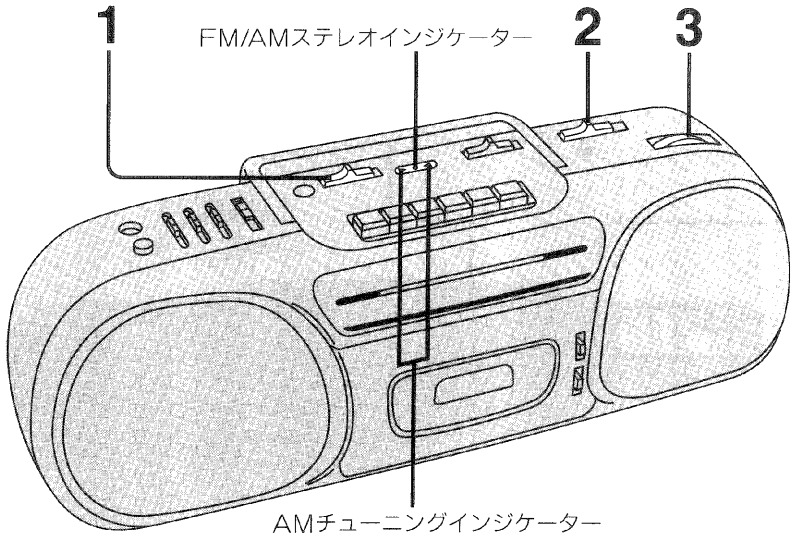
XBSボタンを押込むと、迫力ある重低音の調整ができます。

重低音を調整するとき：　■ 入
100HZの音域を調整するとき：　■ 切

●ミュージックテープによっては、つまみを“大”にすると音がひずむときがありますので、そのときはレベルを少ししぼってお聞きください。

ラジオ/テレビ(1-3チャンネル)を聞く

放送局を選ぶには



1	切換 テープ/電源切　ラジオ	**“ラジオ”を選ぶ**
2	バンド FMステレオ　FM　AMステレオ　AM	**聞きたいバンドを選ぶ** FMステレオ：FMステレオ放送を聞くとき FM　：FMステレオ放送で雑音が多いとき (音声はモノラルになります) AMステレオ：AMステレオ放送を聞くとき AM　：AMステレオ放送で雑音が多いとき (音声はモノラルになります。) ●テレビ音声(1〜3チャンネル)を聞くときは、「FM」に合わせます。 ステレオや音声多重放送は受信できません。
3	選局	**放送局を選ぶ** 周波数が上がる 周波数が下がる

■テレビ音声（1—3チャンネルのみ）を聞くには

FM放送を聞く同じ手順で受信できます。(テレビ音声はすべてモノラルになります。)

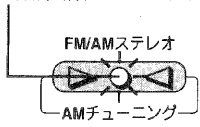
ご注意

本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時に、FM放送が混信することがあります。

放送局を選ぶには(つづき)

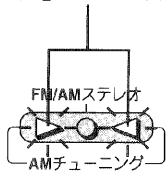
■FM放送を聞く

放送がもっともよく聞こえるように選局する。
ステレオ放送を受信すると、FM/AMステレオインジケーターが点灯します。



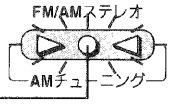
■AM放送を聞く

AMチューニングインジケーターが2つとも点灯するように選局する。



▷だけが点灯しているときは、つまみを右へ少し回します。
◁だけが点灯しているときは、つまみを左へ少し回します。

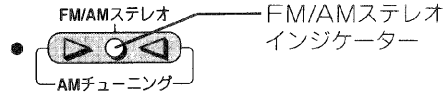
ステレオ放送を受信すると、FM/AMステレオインジケーターが点灯します。



よりよい受信のために(雑音が多いときは)

■FM/AMステレオ モノラルの切換え

(FM/AM放送受信のときでFM/AMステレオインジケーター点灯中) バンド切換つまみでFM/AMを選びFM/AMステレオインジケーターを消します。音声はモノラルになりますが雑音が減り、聞きやすくなります。

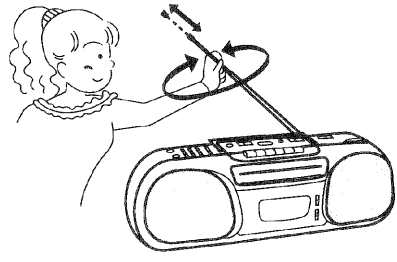


●バンド切換つまみを
「FM」または「AM」に合わせる

■アンテナの調整

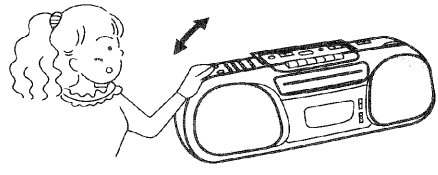
●FM/テレビ放送受信のとき

ホイップアンテナの長さと向きを調整します。



●AM放送受信のとき

本機の向きを調整します。

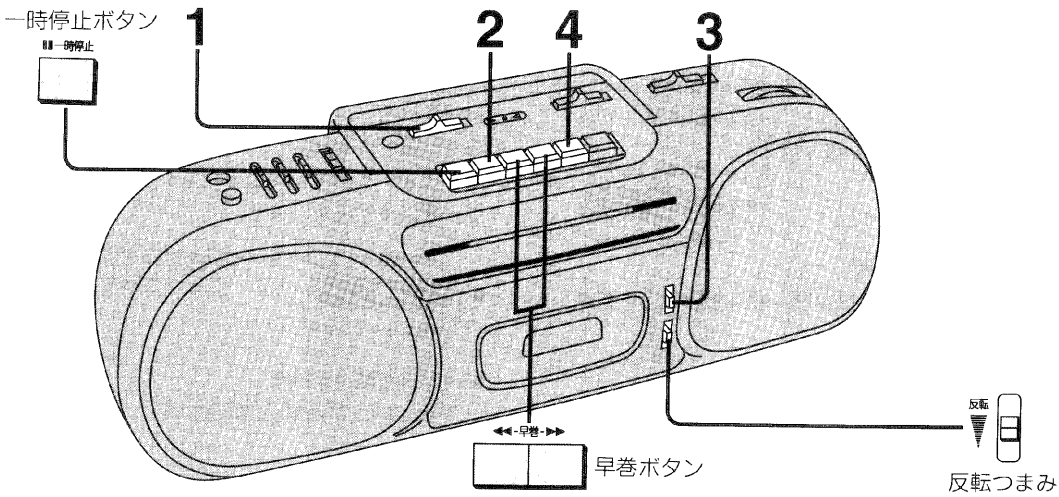


ご参考

乗り物や、建物のなかでは電波が弱まるため、放送が聞こえにくくなることがありますので、できるだけ窓側でお聞きください。

テープを聞く

本機では、ノーマルテープ(TYPE 1)のみご使用になれます。
クローム、メタルテープは使用しないでください。



1	切換 テープ/電源切　ラジオ	**“テープ/電源 切 ” を選ぶ**
2	停止/取出し	**押して、テープを入れる** テープ面を上に うら面 おもて面
3	リバースモード	**リバースモードを選ぶ** ：両面の再生 （必ずおもて面から始めてください。） ：エンドレス再生 停止/取出しボタンを押すまで繰り返し再生します。
4	◁再生	**押す** 再生が始まります。

■再生面を切換えるには（おもて面←→うら面）

再生中に反転つまみを押す。

■テープを止めるには

を押す。

■テープを一時止めるには

を押す。

もう一度押すと再び演奏が始まります。

■テープの早送り、巻戻しをするには

停止中に を押す。

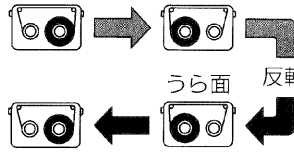
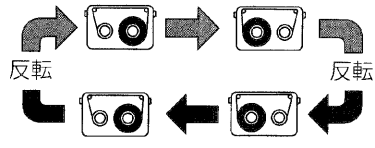
■オートストップ機能

再生、録音中にテープが終端までくると自動的に停止します。

- 早送り、巻戻し中にテープが終端まできてもオートストップ機能は働きません。必ず停止/取出しボタンを押してください。

オートリバース機能(再生のときのみ)

オートリバース機能は、リバースモード切換つまみで次のように切換わります。

両面再生モード（ ）	
リバースモード	おもて面から スタート  注）うら面からスタートすると、うら面だけ再生してオートストップします。
エンドレス再生モード（ ）	
リバースモード	停止/取出しボタンを押すまで連続して再生をくり返します。 

ご注意

うら面再生中に停止/取出しボタンを押し、もう一度再生ボタンを押すとおもて面が再生されます。

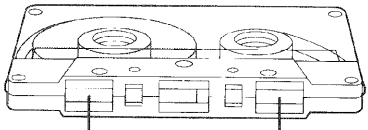
録音をする前に

録音できるテープについて

本機では、ノーマルテープ(TYPE 1)のみご使用になれます。クローム、メタルテープは使用しないでください。

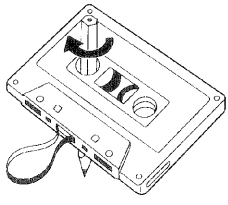
リーダーテープとは

テープの両端にある、録音できない部分のことです。リーダーテープを巻取らずに録音を始めると、曲の頭が切れることがあります。



磁気部（録音できる）　リーダーテープ部（録音できない）

●リーダーテープを巻取るには

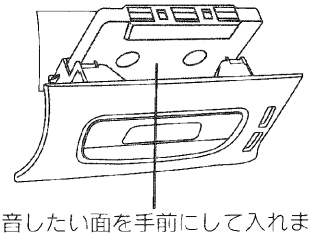


録音レベルについて

本機では、録音レベルを自動的に設定しますので、調整の必要はありません。

テープの録音面について

録音ができるのはおもて面のみです。
（録音時はオートリバース機能は働きません。）



録音したい面を手前にして入れます。

録音を消去するには

新しく録音をすると前の録音は自動的に消去されます。

●無音テープを作るには、

1. 消去したい面を手前にして入れる。
2. 動作切換つまみを“テープ/電源 ⏻”にする。
3. ●録音 を押す。

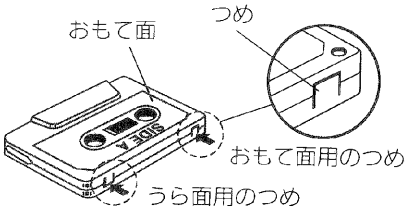
テープについて

■90分を超えるテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻込まれることがありますので、ご注意ください。

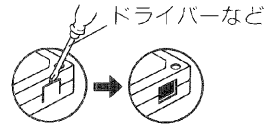
■録音消去防止用のつめについて

おもて面（A面）とうら面（B面）に誤消去を防ぐためのつめがついています。



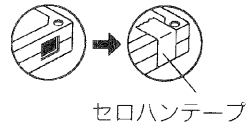
●誤消去を防ぐには

ドライバーなどでつめを折る。

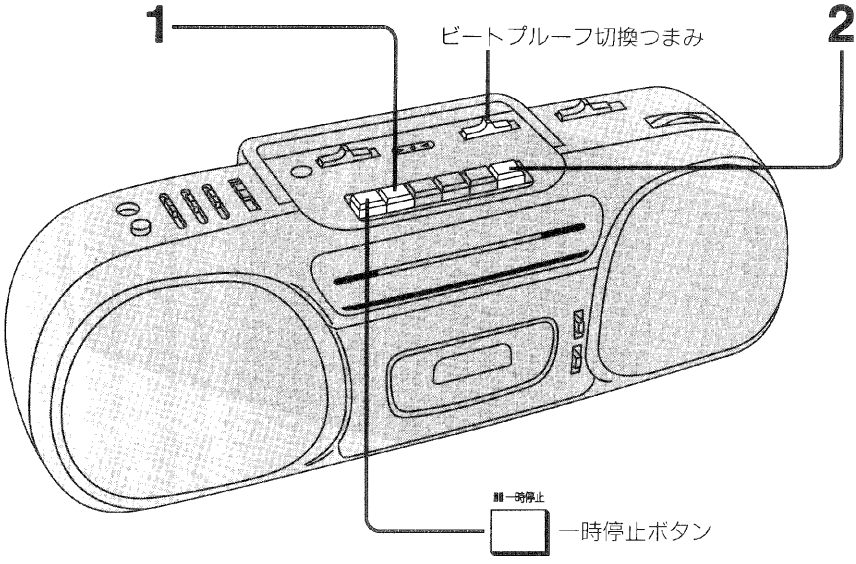


●再び録音するには

セロハンテープを貼って穴をふさぐ。



ラジオ/テレビ(1—3チャンネル)を録音する



■放送局を選んでから、(☞6ページ)		
1	停止/取出し	**押して、テープを入れる** ●テープに誤消去防止用のつめはついてますか? ●リーダーテープ部分はあらかじめ巻取っておきます。
2	●録音	**押す** 録音が始まります。 **録音は常に正転方向(おもて面)の片面録音です。**

■録音を止めるには

停止/取出し を押す。

■録音を一時止めるには

一時停止 を押す。

もう一度押すと再び録音が始まります。

■AM放送を録音中雑音が多いときは

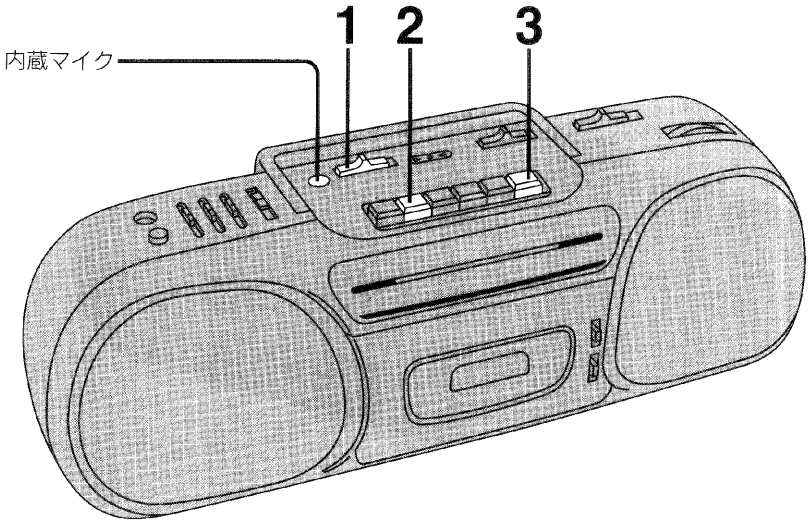
ビートプルーフ切換つまみを、雑音(ピーピーという音)の少ないほう(▌ または ▌▌)に切換えます。

■モニターのしかた

モニターとは、録音している音を同時にスピーカーやヘッドホンで聞くことです。

●録音中に音量や音質を変えても、録音には影響ありません。

内蔵マイクで録音する



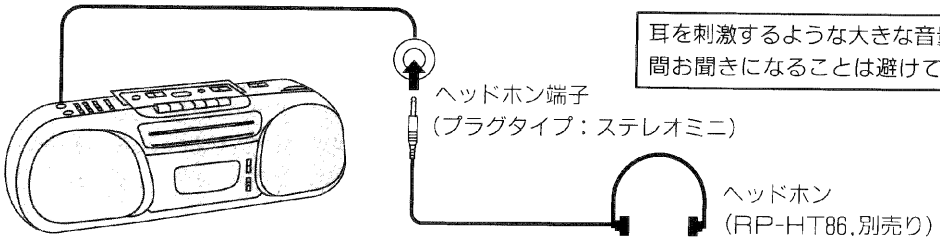
1	切換 テープ/電源切　ラジオ	**“テープ/電源切”を選ぶ**
2	■停止/取出し	**押して、 テープを入れる** ●テープに誤消去防止用のつめはついてますか? ●リーダーテープ部分はあらかじめ巻取っておきます。
3	●録音	**押す** 録音が始まります。

■**録音を止めるには**

■停止/取出し を押す。

●内蔵マイクで録音するときは、ハウリング（ピーという音）を防ぐため、モニターはできません。

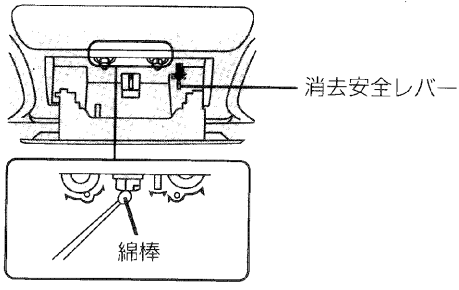
ヘッドホンで聞く



耳を刺激するような大きな音量で、長時間お聞きになることは避けてください。

お手入れ

ヘッド部のお手入れ



音質の劣化を防ぐため、約10時間使うごとに清掃することをおすすめします。

1. 停止/取出 を押してカセットホルダを開ける。
2. 消去安全レバーを押さえながら ●録音 を押す。
   (ヘッド部があらわれます。)
3. 綿棒か、ヘッドクリーニングキット(RP−919、別売り)で清掃する。
   綿棒で、テープが当たる面を清掃します。

■ヘッドの消磁

ヘッドが帯磁すると雑音の多い音になります。
市販のヘッド消磁器で、時々消磁してください。

ご注意

- 注油は絶対にしないでください。故障の原因になります。

キャビネットのお手入れ

- 柔らかい布で拭いてください。
  汚れがひどいときは水か石けん水を含ませた布で拭き、後は空拭きをしてください。
- 化学ぞうきんをお使いのときは、その注意に従ってください。
- ベンジン、シンナー、殺虫剤、アルコールなどは使用しないでください。

アフターサービスについて

保証書（別に添付してあります。）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記載を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間―お買い上げ日から1年間です。

修理を依頼されるとき

15ページの「故障かな!?」に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。（下記のサービス伝言カードをご利用ください。）

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にご連絡ください。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にお問合せください。

（切り取ってご利用ください）

〈サービス伝言カード〉

修理をご依頼になるときに、必要事項をご記入の上、お買い上げの販売店にお持ちください。

(ふりがな) お名前				…故障または異常の内容… （この様な場所で、……していた時、こんな故障になった）
ご住所 ご連絡先	電話（　　）　－			
商品名	ステレオ ラジオ カセットレコーダー	品　番	RX-FS47	
ご購入日		ご依頼日		※私の希望修理代金は＿＿＿＿円迄です

故障かな!?

修理を依頼される前にもう一度次の表でご確認ください。それでもなお異常のときは、「アフターサービスについて」(☞14ページ)の内容にしたがって、お買い上げの販売店へご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください
ラジオ/テレビの音が聞こえない テープが走行しない	●乾電池(単1形)が正しく入っていますか? ●乾電池が消耗していませんか? ●電源を乾電池に切換えたとき、電源コードが本体に差し込まれたままになっていませんか? ●テープは正しく入っていますか?
早送り/巻戻しが遅い	●乾電池が消耗していませんか? ●カセットテープの回転が重くありませんか? (鉛筆などをテープの回転穴に挿入し、手で回してみて回転の重いテープは使用しない。)
再生音が小さい、録音・再生音が割れる。高音が出ない	●乾電池が消耗していませんか? ●ヘッド部が汚れていませんか?
録音ができない	●テープに誤消去防止用のつめはついていますか?

●本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、お互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。
●本機を0℃前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。
これは、本機の動作部に露が発生したためで、60分程で正常に戻ります。

著作権について

●放送やレコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
●従って、それらから録音したテープを、売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
●使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部におたずねください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

日本音楽著作権協会

本　部☎(03)3502-6551	北陸支部☎(0762)21-3602
北海道支部☎(011)221-5088	京都支部☎(075)251-0134
盛岡支部☎(0196)52-3201	大阪支部☎(06)244-0351
仙台支部☎(022)264-2266	神戸支部☎(078)322-0561
大宮支部☎(048)643-5461	中国支部☎(082)249-6362
東京支部☎(03)3562-4455	四国支部☎(0878)21-9191
西東京支部☎(03)3232-8301	九州支部☎(092)441-2285
横浜支部☎(045)662-6551	鹿児島支部☎(0992)24-6211
静岡支部☎(054)254-2621	那覇出張所☎(098)863-1228
中部支部☎(052)586-1155	

主な仕様

ラジオ部

受信周波数：FM：76.0－108.0MHz
AM：525－1605kHz

テープレコーダ部

トラック方式：ステレオ
録音方式：交流バイアス
消去方式：マグネット消去
モニター方式：バリアブルサウンドモニター
周波数範囲：ノーマルテープ：70－11000Hz
(EIAJ)

共通部

スピーカー：ウーハー：10cm丸形2.7Ω×2個
ツィーター：1.5cm×2個
出力端子：ヘッドホン：32Ω
実用最大出力：2.5W+2.5W(EIAJ)
(DC時)
電池持続時間：約30時間(EIAJ録音時)
約14時間(EIAJ音楽再生時、
Vol.8程度)
(別売りナショナル乾電池ネオ〈黒〉
R20PU使用時)
電源：AC100V、50/60Hz
(付属電源コード使用)
乾電池：DC9V(単1形乾電池6個)
消費電力：AC11W
最大外形寸法：460(W)×149(H)×151(D)mm
(EIAJ)
重量：約2.4kg(乾電池なし)
約3.1kg(乾電池を含む)

動作切換つまみ"テープ/電源 切 "時の
消費電力 …… 約1.3W(ACのとき)

□この定格は性能向上のため、変更することがあります。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎(　　)　－	お買い上げ日	年　月　日
お近くの当社ご相談センター	☎(　　)　－	品番	RX-FS47

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番4号　☎(06)909-1021

RQT2211-1S
F0194R0